



平成22年10月12日

各位

上場会社名 三洋工業株式会社
 代表者 取締役社長 山岸 文男
 (コード番号 5958)
 問合せ先責任者 執行役員財務部長 小宮山 幹生
 (TEL 03-3685-3451)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	△150	△100	△150	△4.31
今回発表予想(B)	10,000	△750	△700	△800	△22.97
増減額(B-A)	△4,000	△600	△600	△650	
増減率(%)	△28.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	11,856	△744	△711	△788	△22.63

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	400	450	300	8.61
今回発表予想(B)	28,000	100	150	△50	△1.44
増減額(B-A)	△4,000	△300	△300	△350	
増減率(%)	△12.5	△75.0	△66.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	27,545	△590	△517	△746	△21.44

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	△100	△50	△100	△2.87
今回発表予想(B)	8,500	△650	△600	△700	△20.10
増減額(B-A)	△3,500	△550	△550	△600	
増減率(%)	△29.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	10,161	△611	△550	△662	△19.03

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	200	300	200	5.74
今回発表予想(B)	22,500	△100	50	△100	△2.87
増減額(B-A)	△3,500	△300	△250	△300	
増減率(%)	△13.5	—	△83.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	22,403	△708	△589	△853	△24.51

修正の理由

当第2四半期累計期間における経営環境は、円高や株価の下落など国内景気の先行きに不透明感が高まると共に、公共建設投資や民間設備投資の抑制など建築需要の縮小傾向に歯止めがかからず、極めて厳しい状況で推移いたしました。当社グループでは売上高の大きな伸長が期待できない状況下において、粗利益の確保に注力し、経費削減の諸施策を講じたものの、想定外に受注の減少が続き、販売計画を下回る結果となりました。

このような厳しい経営環境の中で、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益共に当初の予想を大幅に下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

通期の見通しにつきましては、ここ数年間の市場変化による厳しい経営環境が継続するものと予測されます。

当社グループといたしましては、今後とも主力製品を中心とした活発な営業活動を展開すると同時に、経営コストのより一層の削減を図ってまいります。第2四半期累計期間の修正に加え、下期における受注状況などを勘案して見直しを行っております。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月14日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	2.00	2.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への還元を重要政策とし、配当については安定的、継続的に実施することを基本方針としております。

このような方針に基づき、第2四半期末配当(中間配当)の実施につき検討してまいりましたが、業績予想の修正理由にありますように、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しく、第2四半期末配当につきましては、誠に遺憾ながらこれを見送りとさせていただきますこといたしました。

なお、期末配当予想につきましては、先行きも不透明な要因が多いため、現時点での期末配当金は未定とさせて頂き、通期実績や次期の業績見通し等を勘案の上、決定次第お知らせいたします。

以 上